



日

本の源流再発見

坂道と路地の景観

海と山に囲まれた濃密な都市空間



広島県南東部に位置する尾道市は、瀬戸内海に面した港町です。南には瀬戸内海、北には山々が連なっているため坂道が多く、その狭い地域に多くの建物が集まっています。また、古くからの仏閣も多いため、古寺めぐりが人気。日本遺産「尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市」として認定されています。

File 17

広島県尾道市

坂道と路地と寺院が調和する街

広島県尾道市は、瀬戸内沿岸の本州側中央あたりに位置し、近畿と九州、山陰と四国をむすぶ「瀬戸内の十字路」として古来より繁栄してきました。海と山に囲まれたエリアには、住宅が建ち並び、山の中腹には多くの仏閣が



おのみち歴史博物館

軒を連ねています。中国地方屈指の古刹 浄土寺は、616年聖徳太子の開創と伝えられています。他にも、室町時代の建立とされ国の重要文化財である三重塔で知られている天寧寺など、中世から今に続く寺社が少なくありません。

市内は、建物の間を縫うように細い階段や路地が張り巡らされ、独特の景観を形づくっています。山陽本線の北側、坂道の続く路地には石畳の「古寺めぐりコース」があり、コースをたどることで尾道のおもだったお寺を巡ることができます。



天寧寺付近

一方で、古い住宅をリノベーションしたアートスペースや店舗も点在しており、市民の地元を愛し、盛り立てようとする熱意が感じられます。また、尾道といえば猫。あちらこちらで多くの猫がひなたぼっこをしたり、じゃれあっていた



▲ 千光寺公園から望む尾道水道と尾道市街地

千光寺山の山頂から中腹にかけて広がる公園で、市街地からはロープウェイで約3分。川のように見えるのは尾道水道で、対岸は向島。展望台から500mほど下ったところに千光寺があります



▲ 浄土寺

しまなみ海道から尾道水道に入ると見える中世寺院。本堂と多宝塔が国宝に、山門と阿弥陀堂などが国の重要文化財に指定されています



▲ 尾道商業会議所記念館

商業会議所として建築された鉄筋コンクリート造りの建築物としては、現存する日本最古のもの（尾道市調べ）で、尾道市の重要文化財です。当時を知る人の話を基に復元された2階の議場は、会議やコンサート、講演会などに利用されています



▲ 天寧寺海雲塔

1388年に建立された五重塔（現在は三重）で国の重要文化財。天寧寺は「尾道七佛めぐり」のお寺の一つです

り。猫の撮影を楽しみに訪れる人も多いそうです。

海側の市街地には、近代以降の歴史建造物が多く残っています。その一つ、尾道商業会議所記念館は、1923年の尾道商業会議所創立30周年を記念して建設されました。現在は、1階が商都尾道に関する資料の展示室、2階が多目的貸室として利用されており、観光案内所の役割も担っています。また、おのみち歴史博物館は、旧尾道銀行本店で同じく1923年に建てられました。展示室には大金庫の重厚な鉄扉が残っており、かつてここが銀行

だったことを偲ばせています。

千光寺山ロープウェイで山頂駅まで行くと千光寺公園があり、市街地や尾道水道、しまなみ海道の島々を見渡すことができます。春は桜とつつじ、初夏は藤、秋には菊と、四季折々の花が楽しめる公園でもあり、「さくら名所100選」の一つにも選ばれています。

ココに注目

県産の卵と牛乳をたっぷり使った「たまごアイス」が人気の「からさわ」。アイスモナカは注文を聞いてから作るのでサクサク。10月～4月は抹茶とチョコ味も。



日立グループ事業所紹介

今回訪れた広島県には株式会社 日立製作所 中国支社があります。情報システム、電力・産業システム、都市ソリューション、環境・エネルギーなど多岐にわたる製品・サービスを通じたソリューションを提供しています。

株式会社 日立製作所 中国支社 広島市中区袋町5番25号 広島袋町ビルディング
<http://www.hitachi.co.jp/area/chugoku/>